

【様式3】事業評価個票

事業名	留学生受入拡大推進事業費		開始/終了(予定)年度	令和元 / 未設定			活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和一年度(最終目標)		
部局・担当課名	みらい企画創造部 国際人材活躍・コンベンション誘致推進課						活動指標及び活動実績(アウトプット)	①奨学金支給人数	活動実績	人	38	28	—	—	—	
政策の柱、政策	[政策の柱1] 次代を担い地域を支える人材の育成・確保 [政策4] 国内外の様々な人材の呼び込み					当初見込み			人	65	45	45	—	—		
総合発展計画実施計画の位置付け	施策	[施策4] 外国人材の受入れ拡大						②	活動実績							
	目標指標	外国人留学生の県内受入数	455人(令和6年度)			当初見込み										
事業の目的	人口減少が進む中、将来にわたって活力ある山形県をつくっていくために、本県産業を担う高度外国人材となりえる留学生の受入れ拡大及び県内就職の促進を図ること。							③	活動実績							
事業概要(令和4年度の実施内容)	○山形県私費外国人留学生奨学金 【概要】県内に就職する意思があり県内企業へ就職活動等を行う私費外国人留学生に対し、奨学金(月額2万円)を支給するもの 【支給実績】28名(令和4年度)								④	当初見込み						
										活動実績						
										当初見込み						
							成果指標(所管部局の分析)	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和一年度(最終目標)		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 () 上記実施方法とする理由: 経費削減のため						成果指標及び成果実績(アウトカム)	①外国人留学生の県内受入数	成果実績	人	280	279	—	—	—	
	目標値	人	342	377	414	455			—							
	達成度	%	82%	74%					—							
	当初予算額(単位:千円)	予算見積書グループ名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	②	成果実績						
① 私費外国人留学生奨学金		12,269	10,109	15,669	10,869	10,869	目標値									
②							達成度	%								
③							③	成果実績								
④						目標値										
計	12,269	10,109	15,669	10,869	10,869	達成度	%									
財源内訳(単位:千円)	国庫支出金						④	成果実績								
	県債							目標値								
	その他特定財源							達成度	%							
	一般財源	12,269	10,109	15,669	10,869	10,869		活動指標及び成果指標設定の考え方								
計	12,269	10,109	15,669	10,869	10,869	本事業による取組み状況は奨学金受給者の人数で分かることから活動指標には「奨学金支給人数」を、本奨学金は本県への留学生受入拡大の一貫として実施しており、留学生が本県を選ぶ上での利点となるため、成果指標には「外国人留学生の県内受入数」を設定した。										

事業所管部局による評価・検証(令和5年6月)

項目	評価(ABC)	評価に関する説明	課題
事業の必要性	B	国内で外国人留学生の奪い合いが起きており、そもそも留学生数が全国と比べて圧倒的に少ない本県を留学先として選んでもらうためには、本県に留学する利点を生み出す必要がある。また、交通機関に限られている広い県内で就職活動を行うためには、移動や宿泊に費用がかかることから、県内就職を促す上で就職活動経費の支援は重要である。	奨学金のより一層の活用を促進するため、各大学等と連携し本奨学金及び県内就職のPRを強化する必要がある。 また、本奨学金による留学生への働きかけだけでなく、留学先となる各大学等、就職先となる県内企業が留学生の受入れに対して積極的になるよう働きかけていく必要がある。
事業の効率性	B	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。	
事業の有効性	A	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	
事業の有効性(達成度)	B	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	今後の対応 留学先としてより多くの人々に本県が選ばれるよう、情報発信強化による認知度の向上を目指す。また、県内就職促進に向けて、受入れ先となる県内企業の開拓や県内留学生と県内企業が接する機会の創出を進めていく。
	C	成果実績は成果指標に見合ったものとなっているか。	

(評価基準)「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」
 「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」

留学生受入拡大推進事業費の主な実績（R4）について

○ 山形県私費外国人留学生奨学金

申請 30 件 支給決定 30 件 うち 2 名辞退⇒28 名に支給